

『特別支援児の心理学[新版]—理解と支援—』梅谷忠勇・生川善雄・堅田明義編著(北大路書房) 2012 年度～

科目概要

本科目では、特別な教育的支援を必要とする障害児の障害の概念・種類、各種障害の相互関連、障害の原因・病理や診断・状態把握について学ぶ。その上で、重複障害(重度・重複障害を含む)、LD・ADHD・自閉性スペクトラム症(自閉性障害、高機能自閉症)等、発達障害のそれぞれの概要(定義、原因、分類)と診断・状態把握、心理特性、生理・病理について学ぶ。さらに、それらの各種障害児に対する発達支援の在り方についての認識を深める。

学習上の目標

■ 科目の到達目標

1. 特別な教育的支援が必要な障害児の障害の種類とその相互関連について理解する。
2. 障害児の障害の原因・病理について認識を深める。
3. 障害の診断・理解と状態把握の視点について学ぶ。
4. 重複障害(重度・重複障害を含む)の概要(定義、原因・病理、分類)、診断と心理特性について認識を深める。
5. LDの概要(定義、原因・病理、分類)、診断と心理特性について認識を深める。
6. ADHDの概要(定義、原因・病理、分類)、診断と心理特性について認識を深める。
7. 自閉性スペクトラム症等の概要(定義、原因・病理、分類)、診断と心理特性について認識を深める。
8. 重複障害、LD等発達障害児に対する発達支援の在り方について学ぶ。

■ 科目の学習要点事項

1. 障害児の障害の種類とその相互関連
2. 障害の原因・病理
3. 障害の診断・理解と状態把握
4. 重複障害の概要、診断、心理特性
5. LDの概要、診断、心理特性
6. ADHDの概要、診断、心理特性
7. 自閉性スペクトラム症(自閉性障害、高機能自閉症)等の概要、診断、心理特性
8. 各種障害児への発達支援の在り方

参考文献

- ① 『障害特性の理解と発達援助』昇地勝人他編(ナカニシヤ出版) ② 『発達障害かもしれない』磯部潮著(光文社)

評価基準

■ レポート評価

レポート作成にあたっては、レポート課題の趣旨を理解し、テキスト(参考文献を含む)を熟読したうえで、テキストの記述を転記するのではなく、重要事項を押さえて自分なりの視点から考察し、論理的に記述するようにすること。

■ 科目終了試験評価

科目終了試験は、上記の「科目概要」および「学習上の目標」に関係したテキストの内容の全体にわたって出題している。評価は出題の趣旨に沿った重要事項(キーワード)を盛り込んで、論理的かつ具体的に説明されているかにより行う。